



LINE QR コード

令和7年

9月

第482号

# 浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

## 「七月の梅雨明けから始まつ孟蘭盆会」

初盆をお迎えの方々の「自宅法要」「本堂家族法要」を七月からお勤めしながら、八月九日十二日の「合同法要」は四五〇名の方々をお迎えし、勤めました。十日、十二日は小雨で思いの外涼しいお盆でした。

### 「今年の合同法要での法話テーマ」

「死が縁遠くなつた今」  
「死が縁遠くなつた今」現代の社会では、家族の死が、家庭から離れた場所、施設や病院で迎えられることがほとんどです。ですから、人の死と縁遠くなつていくのが現代社会です。  
①看護介護の現実・楽に綺麗に終われない現実を知らない。  
②臨終までの課程・呼吸が止まる瞬間にも立ち会うことが難しい。  
御高齢の方々は、子や孫に、自身の死を伝える責任があるように思います。次世代の人が、先人の死を受け止めてこそ、生きていく自覚や実感が目覚めるように思います。

中高生の自死と向き合つての私の意見です。遺書を拜見すると、  
「理想の自分を求めて、理想の世界」へ旅立つ趣旨が目立ちます。

バーチャルな世界「YouTube、ゲーム、SNS、ネット情報、コミック」の世界観や価値観に生きる若者達は、心の病みに気づかず、躊躇うことなく踏み出しているように感じました。

死の現実を視覚聴覚臭覚触覚で受け止める機会が不可欠な世界に私たちは生きていくように考えます。

住職言

まだまだ、十月までは猛暑が続きます。くれぐれもご自愛下さい。



## 「東本願寺孟蘭盆会七月十六日」



本山の孟蘭盆は「余乗（他宗）の儀式」として位置づけられ、「世間通途の義に順ずる（蓮如上人）」扱いです。お正月のお勤め同様に軽く、粛々と内々に勤められています。



暑さで「仏花がすぐに枯れてしまします」。立て替えても、四日ほど、花の命は短い。



猛暑で、冷却スーツを着ての散歩する日々が続きました。エアコンの効いたお家が一番。夏ハテしなかつたのが何より。初めてのサロンのチャレンジができました。



## 令和七年度「浄恩寺報恩講法要」

十一月二十二日（日） 十時

勤労感謝の日



今年も、午前からの法要をお勤めします。

午前十時からお勤め開始、

十時四十分法話「荒山 優氏」 十二時終了

永代経同様、納骨堂より、お骨を本堂に安置して、先人と共に聴聞する法会にさせていただきます。